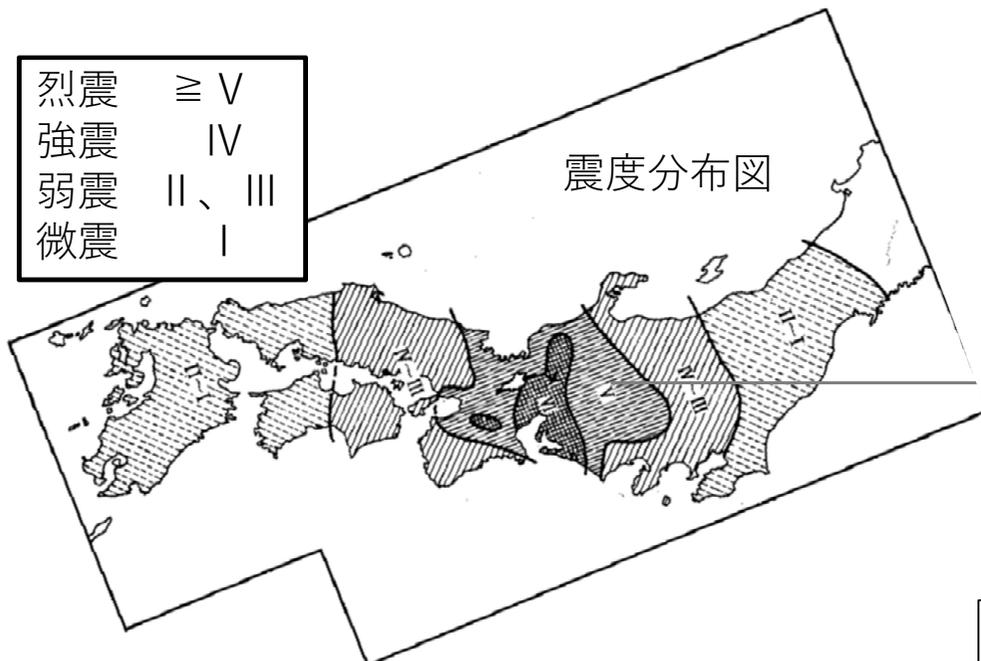


濃尾地震



■地震の諸元 (※による)

発生年月日 明治24 (1891) 年10月28日
 震央 岐阜県
 マグニチュード 8.0
 深さ 10km
 北緯 35度36分 東経 136度36分

■被害 (大阪府での被害)

死者 24人
 負傷者 94人
 家屋全壊 1,011棟

全体

死者 7,273人
 負傷者 17,175人
 家屋全壊 142,177棟
 (特に美濃、尾張で甚大)

大阪府での被害は大阪府地域防災計画による

全体は日本被害地震総覧による

断層のずれにより、写真中央の道路が寸断している (当時撮影) (本巢市)

写真撮影：小藤文次郎氏



気象庁パンフレット「活断層に備える」から引用

東京大学地震研究所所蔵の「濃尾地震について」に大阪府内の様子を記した資料や新聞社の取材など数多くある。その中の1つの概要を記す。

『10月28日午前6時過ぎ、農作業で肥料をやっていたところ、7時頃ドンドンと響いて何かかと思って立ち尽くして見ていたところ、依田金田村の家屋が揺れていた。そして我が家の方、梶村 (いずれも現守口市) を見ると何事もなかった。おかしい事だと思って、もう一度我が家の方、梶村を見ると揺れていた。既に揺れた後で驚いて家に帰った。家のものが言うには、今回の地震は東北から来た。北の方は大地震になっているに違いない。三日ほどして新聞社がきたのでそう言った。(淀川沿いの平方付近の話) 資料集第二巻 1262ページ

※宇津徳治, 日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表: 1885年~1980年, 震研彙報, 57, 401-463, 1982.

宇津徳治, 日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表: 1885年~1980年 (訂正と追加), 震研彙報, 60, 639-642, 1985.

茅野一郎・宇津徳治, 日本の主な地震の表, 「地震の事典」第2版, 朝倉書店, 2001, 657pp